

小山第三中の生徒が看護師体験

小山第三中学校の2年生、本田咲楽さん、齋藤沙南さん、栗崎鈴那さん、関口紗矢香さんの4人が11月9、10の2日間、職場体験として城西病院で看護師の体験をしました。

9日の午前中は、オリエンテーションで病院や達生堂グループの概要を聞いた後、病院内を見学しました。手術室や臨床検査室、MRI、急性期病棟、リハビリテーション、城西総合健診センターなどを見て回り、手術室では手術台の体験もしました。

そのあとは2日間とも、療養病棟で看護師を体験。車いすや血圧計、とろみ食、聴診器などを試したほか、患者さまと話をするなどの体験をしました。

看護師体験を通し、4人は初めて見る医療器械などに興味津々。心電図をつけて階段の昇り降りをしたりする体験で、心拍数の変化も身をもって体験しました。

本田さんは「病院を働く側から初めて見ました。患者さんの命を守るために気を付けることがいっぱいあり、人の命を守ることがとても大変と感じました」と話し、齋藤さんは「命を救う仕事がしたいと思っています。患者さんに対する気遣いがとてもよく感じられました」。関口さんは「事故の現場などで人を救う仕事がしたい。看護師はとても大変な仕事、でもその大事な仕事をやってみたい」。そして栗崎さんは「体の半分が不自由になった患者さんと話をしました。看護師さんも患者さんに明るく接していてすごいと思いました。お話をした患者さんも、体が不自由だけどいろんなことに挑戦して、私たちが逆に元気をもらいました」と話していました。

平成29年11月13日

